

入社式/社長メッセージ(代表取締役社長 三村 明夫)

156人の諸君を心から歓迎いたします。

世界鉄鋼業界は再編の第2ステージを迎えています。

第1ステージは1995年頃からの10年間です。1997年のタイ通貨危機で世界的に鉄鋼需要が落ち込み、鋼材価格がどの鉄鋼メーカーも収益を上げられないほど落ち込んだのを契機に、業界大再編が行なわれました。新日鉄もプラザ合意から2002年までの17年間は苦しみ連続でした。当社はこれに対処するために、おそらく世界でも類を見ない大きな合理化を実施しました。こうした合理化と世界経済の成長がもたらした鉄鋼需要増により、この4年間は順調に利益成長を続けております。

鉄鋼業界再編の第2ステージはアルセロール・ミタルという巨大企業の誕生から始まりました。これは健全な業界構造をめぐる再編のスタートであり、新日鉄もその中で主役のひとりとして重要な役割を担うこととなります。これから諸君にもチャレンジングな仕事が沢山待っています。是非とも期待していただきたい。

第2ステージの競争のポイントは、利益成長に裏付けられた市場価値の争いです。その為には、成長に向けた設備投資・投融資、製造業としての製造実力の向上、技術の先進性の追求の3つをキーワードに、高級品を中心とした、世界最新鋭の技術力に裏付けられた総合力ナンバーワンの会社を目指します。ここでひとつだけ言っておきたいのは、努力すれば悪い状況は永遠に続くものではない、同時に良い環境も永久に続くものではないということです。企業の真の実力は悪い時をどう乗り切るかということです。

諸君の入社にあたり、3つのことを申し上げたい。

ひとつ目は、常に現状には問題があるということです。組織に入ると現状に問題はないと思いがちです。製鉄所同士で比較し合う、或いは他社や他産業のベストプラクティクスを常に知りながら、自分の組織の問題点をチェックしていただきたい。

2つ目は、諸君はたちまちのうちに新日鉄人になります。自覚して欲しいのは、新日鉄には独特の言葉や考え方があり、時には世界の常識とは異なるということです。是非とも学生時代の友人や知人との交流を大事にして、新日鉄の考え方や常識が世界とどのようなギャップがあるのか、心の中で価値基準を持ってもらいたい。

3つ目は、会社は誰の為に何のために存在しているのかという問いを発し、自分なりにその答えを得て欲しいということです。会社である以上、利益成長することは当たり前です。しかし、それは正々堂々とした手段で得た利益であるべきです。コンプライアンス上問題がある手段で得た利益は要りません。また、我々は日本の産業連携の中で重要なポジションを占めながら、需要家と一緒にあった競争力を高めています。需要家の成長、すなわち日本経済の成長の通じて新日鉄は成長するというのが我々の基本的な考え方です。このような問題について諸君の一人一人が時に応じて考え、自分なりの回答を出して欲しいと思います。

諸君の充実した人生を祈念して社長としてのあいさつと致します。

以上

(お問い合わせ先) 総務部広報センター 03-3275-5021